

が改善のオッズ比を有意に下げる要因（オッズ比 0.85）となっており、栄養改善の実施者が改善しないという結果が得られた。これらプログラムの実施と認知関連項目の改善との関連については様々な要因が関与していると思われ、これが直ちにプログラムの効果を意味するかどうかについては注意を要するものと思われる。

4) 要支援1・2における結果

a) 認知症高齢者日常生活自立の維持改善要因

分析の結果、認知症高齢者日常生活自立度の維持改善のオッズ比を有意に下げる要因として、年齢が高齢であること（1歳刻みのオッズ比 0.97）、脳血管疾患の既往があること（オッズ比 0.83）が認められた。介護予防事業の種類については、介護予防通所リハビリテーションを実施することが、改善のオッズ比を有意に下げる要因となっていた（オッズ比 0.82）。

b) 知能評価スケール得点の改善要因

分析の結果では、既往症については、全体の結果と同様に、認知症であること（オッズ比 0.36）、知的活動が低いこと（オッズ比 0.64）が、改善のオッズ比を有意に下げる要因として認められた。ここでも、関節疾患があること（オッズ比 1.46）、骨折・転倒があること（オッズ比 1.47）は、改善要因として認められた。また、介護予防事業の種類については、いずれも、改善・非改善の要因としての効果は認められなかった。

c) 基本チェックリスト認知症関連3項目の得点の改善要因

分析の結果では、知能評価スケール得点が20点以下であること（オッズ比 0.55）、認知的活動が低いこと（オッズ比 0.71）が改善のオッズ比を有意に低下させる要因として認められた。また、同居していないこと（オッズ比 1.43）が改善要因となっていた。この分析においても、介護予防事業の種類については、いずれも、改善・非改善との有意な関連は認められなかった。

これらの分析結果から、認知的機能が高いこと、知的な行動習慣を持つこと、独居で自立した生活をする事、認知症がないこと、うつ傾向がないことが、認知機能を改善する要因となっているといえるであろう。認知的側面の改善に及ぼすソーシャルサポートおよび介護予防事業の効果については、一貫した結果が得られておらず、分析結果からは、結論的なことは言うことができない。特に、認知症予防事業に関しては、本格的に事業が実施されておらず、その効果を検討するには十分なデータが得られてない。今後の認知症予防事業への取り組みとその効果の検証が期待される。

表Ⅶ-1 分析結果の概要

	全体における分析			特定高齢者における分析(1)			特定高齢者における分析(2)			要支援1・2における分析		
	認知症生活自立度 a	知能評価スケール b	認知症関連3項目 c	認知症生活自立度	知能評価スケール	認知症関連3項目	認知症生活自立度	知能評価スケール	認知症関連3項目	認知症生活自立度	知能評価スケール	認知症関連3項目
高齢	●			●			●			●		
女性												
基本チェックリスト合計高い			●	●		●	●		●			
脳血管疾患あり	●									●		
関節疾患あり		○									○	
認知症あり	○	●	●		●	●		●		○	●	
骨折・転倒あり		○									○	
高齢による衰弱あり												
落ち込みやすさ低い						○						
知能評価スケール得点低い	●	×	●		×			×			×	●
認知的活動低い	●		●	●			●					●
認知的活動中位				●								
認知的活動高い											●	
役割なし												
同居者なし			○									○
困ったときの相談相手なし												
体の具合の悪いときの相談相手なし												
日常生活支援してくれる人なし				●			●					
具合が悪いとき病院に連れて行ってくれる人なし												
寝込んだとき身の回りの世話をしてくれる人なし												
通所型介護予防事業非実施	×	×	×		×		×	×	×	×	×	×
訪問型介護予防実施	×	×	×		●		×	×	×	×	×	×
運動器の機能向上実施	×	×	×	×	×	×			○	×	×	×
栄養改善の実施	×	×	×	×	×	×	●		●	×	×	×
口腔機能向上実施	×	×	×	×	×	×			○	×	×	×
認知症予防・支援実施	×	×	×	×	×	×				×	×	×
介護予防通所介護実施	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
介護予防通所リハビリテーション実施	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●		
介護予防訪問介護実施	×	×	×	×	×	×	×	×	×			×

○:維持改善のオッズの上昇 ●:維持改善のオッズの減少 ×:分析に投入しない
a:認知症高齢者生活自立度維持改善 b:知能評価スケール(改訂長谷川式知能評価スケール)改善
c:基本チェックリスト認知症関連3項目改善